

接種ストレス関連反応（ISRR）とは、どんな症状ですか？

HPVワクチンに限らず、全ての予防接種には「接種ストレス関連反応（ISRR）」という、接種にまつわるストレスから生じる反応があることが知られています。日常生活の中での不安や不調などが、接種による緊張や不安でより高まり、身体的な不調があるように感じてしまうことです。

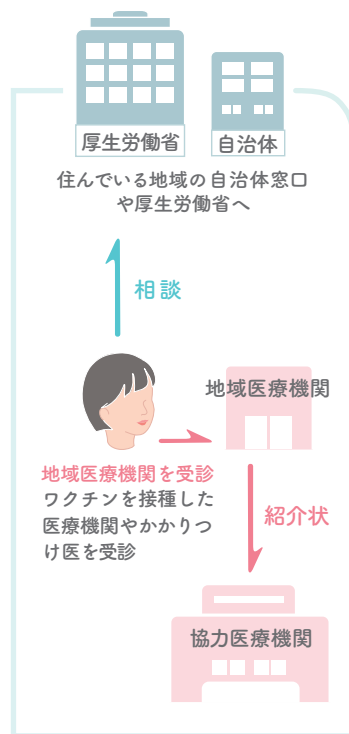
特に HPV ワクチンは思春期の多感な時期に接種することもあり、この ISRR を感じやすい可能性があります。

接種の有無に関わらず起き得るのですが、万が一ワクチン接種がきっかけになった場合には診療体制が整備されており、適切な対処が受けられます。

もしも副反応や接種ストレス 関連反応（ISRR）が起きたら？

接種後に異変を感じた場合は、まずは接種を受けた医療機関やかかりつけ医に相談して下さい。また地域の医療機関をバックアップするため、47都道府県に80を超える協力医療機関があり、必要に応じて受診が出来ます。

協力医療機関への受診については紹介状が必要なため、まずは接種を受けた医療機関や、かかりつけ医にご相談ください。



ワクチン相談窓口

予防接種による健康被害が生じた場合、その健康被害がワクチン接種によるものであると厚生労働省が認定した場合には、救済制度があります。救済制度の申請や相談は、居住地域の窓口へご相談ください。厚生労働省でも下記窓口でHPVワクチンについての相談を受け付けています。

厚生労働省

感染症・予防接種に関する相談窓口

電話番号：0120-331-453

※HPVワクチンを含む、予防接種全般についての相談窓口です。

みんなで学ぶ HPV ワクチンアカデミー



HPVワクチンの安全性と子宮頸がん予防について、科学的なデータと専門家の意見に基づいた情報を動画で学べます。

総括責任者：片山佳代子
医療監修：上田豊

<https://www.youtube.com/watch?v=KHx6BzKvHWQ>

国立がん研究センターファクトシート

日本の子宮頸がんおよびHPV関連がんの対策とその管理体制について、科学的根拠と諸外国の事例を国立がん研究センターがまとめています。



<https://www.ncc.go.jp/html/icc/hpvcancer/index.html>

子宮頸がんの予防とHPVワクチンについて

クチコミの
チカラを使って
正しい情報を
みんなに



ON CANCER がん疫学研究の情報発信サイト
<https://gunmadaigaku-kk.nf.gunma-u.ac.jp>

2021-2024年度文部科学省科学研究費助成事業 基盤研究（B）
「保健師を中心に地域に広げる子宮頸がん予防対策の普及プログラム」代表：片山佳代子（群馬大学）

2023-2025年度がん対策推進総合研究事業
「生まれ年度ごとの HPV ワクチン接種状況と子宮頸がん罹患リスクの評価とキャッチアップ接種者に対する子宮頸がん検診の受診勧奨手法の開発代表：上田豊（大阪大学）」